



健康講座

さくら会病院では、皆さまに病気の予防や最新治療について少しでも知識を深めていただき健康増進、維持に役立てていただけるよう「知っておこう！病気のこと」をテーマに健康講座を開催いたします。皆さまお誘いあわせの上、是非ご参加ください。



日時：令和6年10月6日（日） ◎ 開場 12:30

会場：大阪狭山市文化会館（SAYAKA ホール） 大ホール

大阪狭山市狭山1丁目875-1：大阪狭山市駅より徒歩3分
駐車場あり（駐車料金無料）

参加無料・参加予約不要

13:00 開会のご挨拶 院長 福間淳

テーマ.1 (13:10~13:40)

脳卒中について

脳卒中は脳の血管が詰まったり破けたりして症状が出現する病気です。そして日本人の死因の第4位を占め、高齢者が寝たきりになる原因疾患の第一位でもあります。ある統計によると日本人の4.3人に1人が生涯脳卒中を経験するとされています。その恐ろしい病気である脳卒中にならないためにはまずその予防が大変重要であることは言うまでもありません。しかし、不幸にして脳卒中になった場合、その治療はどのように行われているのでしょうか。その治療には外科的治療、内科的治療、リハビリテーションなどがあります。今回は、脳神経外科医が行う脳卒中に対する治療についてお話しさせていただきます。



さくら会病院 脳神経外科診療部長
講師 中嶋 教夫

テーマ.2 (13:40~14:10)

高次脳機能障害を知ろう

脳卒中などの脳の病気や頭のケガなどで脳が損傷すると、手足が動かない、うまく話せないなどの症状が現れることは、よく知られています。脳の損傷では、それらに加えて、記憶する、注意を払う、考えて判断する、状況に応じて行動する、などという人間ならではの高度な脳の働きも障害されます。このような高次脳機能の障害は外から見えにくく、本人も周りの人も気づきにくいのですが、日常生活を送る上では大きな問題となります。脳損傷後にうまく生活していくためには、高次脳機能障害に気づき、障害に応じた対応を工夫することが大切です。今回は、「見えない障害」と言われる高次脳機能障害の症状についてお話しさせていただきます。



さくら会病院 リハビリテーション科
近畿大学 名誉教授

(14:30~15:00)

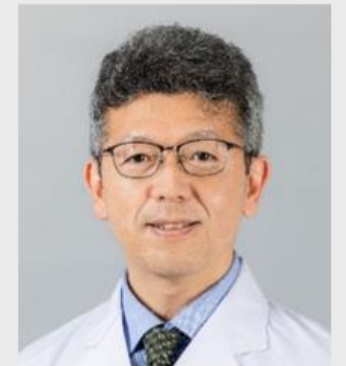
当院の介護事業（訪問リハビリ・通所リハビリ・訪問看護ステーション）についてお話しさせていただきます。

講師 稲瀬 正彦

テーマ.3 (15:00~15:30)

特別講演 股関節疾患・膝関節疾患に対する最新の治療法について

足の付け根（股関節）や膝関節の痛みに悩んでいませんか。股関節、膝関節の外科治療は劇的に進化しています。特に股関節の場合、既に変形が進んでしまっても、人工股関節置換術を行ってきちんとリハビリを行えば、健常な方と同じように生活して、ゴルフやテニスなどのスポーツを楽しむことができます。内視鏡手術や骨切りで形状を矯正する手術によって、将来的な股関節や膝関節の変形の進行を予防することも可能です。また、疼痛を緩和する為の薬物治療も進歩しています。講演では股関節疾患、膝関節疾患に対する最新の治療法についてお話しさせていただきます。



特別講演

近畿大学整形外科主任教授

講師 後藤 公志 先生

最後に素敵なゲストを迎え演奏会を開催いたします♪ (15:40~)

出演：理事長 伊原郁夫（サクソ） ゲスト 医療法人正清会 金剛病院 赤松舞子先生（ボーカル）
大石浩之（ピアノ） 須崎健二（ベース）



問い合わせ

社会医療法人さくら会 さくら会病院 〒589-0011 大阪狭山市半田 5-2610-1
電話：072-367-0266（直通） ●主催：さくら会病院 広報委員会